

# Yacht Sailing

世界レベルの優秀セーラーを輩出  
浜名湖は最高のヨットスタジアム

ヨットセーリング

ヨットセーリングは子どもから高齢者まで楽しめる生涯スポーツ。帆が受ける風の力のみで水上を進みスピードを競う。選手たちの繊細な駆け引きでスタート位置は決められ、潮の流れや風向きを考えながら目的地までの最短距離を計算する。物理と体力を駆使して、ゴールを目指すスポーツである。



県立三ヶ日青年の家にあるヨットハーバー。小学生も参加できる海洋活動を行い、ヨットをはじめとするマリンスポーツを気軽に体験できる場を提供。未来のマリンスポーツプレイヤーの育成に貢献している。

浜名湖は年間を通じて良い風が吹き、四方が陸に囲まれているためうねりが少なく、安全にヨットセーリングを楽しめる。浜松市北区三ヶ日町のビーチスマリーナを拠点に活動する「静岡県セーリング連盟 浜名湖ジュニアクラブ」は小学生から高校生までを対象にセーリング技術の指導や大会への参加を行っている。毎年3日間にわたり行われる「YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」は25年もの歴史を誇るイベントで、オリンピック出場経験者による実践的な指導も受けられる。ヨットセーリングは敷居が高いスポーツとされがちなので、設備や練習環境の提供と技術向上・育成に対する積極的な取り組みが必要だ。セーリング連盟の副理事長が経営するマリッシュヨップ ジョナサンでは、浜名湖で唯一ヨットのレンタルができ、初心者も気軽に体験できる。ヨットの競技人口を増やし、活躍する場を絶やさない連盟の活動成果もあり、年々選手たちのレベルは高くなり、世界大会や国体に出場する優秀な若き選手たちが誕生している。

PICK UP!

ヨットセーリングの一流

鈴木亮太郎くん

世界選手権にも出場する亮太郎くんは今年で16歳。大人顔負けの腕を持つヨットセーラーだ。「海の上では自分一人。うまくいけば自分の成長、うまくいかなかったら自分の責任。世界レベルを体験し、目標がさらに明確になりました」と、休日は父親とともに浜名湖で練習し、平日は自宅で筋トレに励む。

静岡県セーリング連盟: <http://www.jsaf.or.jp/shizuoka/>  
静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニア:  
<https://hamanako-jr.jimdo.com/>



免許を持っているけれど買うまでは...という人にうれしいショップ。モーターボートからヨットまでレンタルが可能で、首都圏からの利用者も多い。  
問/マリッシュヨップ ジョナサン  
☎053-522-4666 「ジョナサン 浜名湖」で検索

# SUP Stand Up Paddleboard

世界で話題  
エコでクリーンなマリンスポーツ

SUP(スタンドアップパドルボード)は、ボードに立ち、パドルを漕いで水の上を進む新たなマリンスポーツ。水のある場所なら海でも川でもどこでも楽しめ、初心者でもすぐに立てる手軽さが魅力。一方で、サーフィンのように大波に乗り、技を競い合うものや、数10kmもパドルを漕ぎ続けスピードを競うもの、ボードの上でポーズを決めるヨガまで、レベルや好みに合わせて楽しみ方は自由自在だ。  
浜名湖のすばらしいロケーションの中でSUPを体験できるプロショップナッツは全国規模の大会を積極的に開催。さらにはメタボリック、成人病の予防のためにもSUPを推奨し精神的に活動している。なおニュージーランドでは、乳がん患者のリハビリとしてSUPを推奨し、医師の指導の下、SUPが癌患者のリハビリに効果的だという報告もある。

ホイルをつけた新しいSUPが今話題に。ホイルとは、ボードの下に取り付けるフィン状のアタッチメント。これを装着すると揚力が生まれ、飛行するかのようボードが浮いて進む。ボードが水面に直接触れないため抵抗を受けず、かなりのスピードが出て、まるでエンジンがついているかのように感じられる。



辺り一面が海という状況での長距離競技は、精神的にも疲れやすい。山や陸に囲まれている内海の浜名湖では、景色の移り変わりを楽しみながら漕げるため、選手にとって好環境だという。

PICK UP!

SUPの一流

小杉航生くん和小杉正光さん

今年15歳になる航生くんは大人と肩を並べ、全日本選手権のエリートクラスに出場し、好成績を取っている将来有望な選手。昨年11月に行われた長良川SUPジャパンオープン1stでは見事優勝。元ウインドサーフィンのプロ選手であり、ナッツのオーナーである父親とともに日々浜名湖で練習を重ねている。

問/ウインドサーフィン & スタンドアップパドルボード プロショップ ナッツ  
☎053-487-2312 「sup ナッツ」で検索



フライボード

# Fly Board

ロケットのように飛び立とう!

水圧で勢いよく上昇し、空中技を決める

近年メディアでも取り上げられることが多く、認知度を高めているフライボード。競技人口も増え、協会も設立された。毎年全日本フライボード選手権が開催され、レジャーだけでなくスポーツとしても成長を見せている。波が高いとジェットが揺れ、その影響で選手もバランスを崩しやすくなるが、浜名湖は波が立ちにくいのでフライボードに最適。浜名湖でフライボードを楽しめる唯一のショップ「ベルマリン」では全日本チャンピオンの指導が受けられると、全国各地から希望者が集う。後ろに宙返りする「バックフリップ」や、水中に潜ったり水面に飛び上がったりを繰り返す「ドルフィン」という大技もチャレンジできるので、勇気を出して挑戦してみよう。



PICK UP!

フライボードの一流

フライボード全日本チャンピオン  
鈴木寛典さん

全日本フライボード選手権で2年連続優勝。フライボードのインストラクターをしながら3連覇を目指し、筋トレやトレーニングを毎日欠かさない。「フライボードは道具や環境が揃っていないとできないので競技ができる場所も人口もまだまだ少ないですが、スポーツとしてもっとメジャーに成長できるように携わっていきたい」と語る。

問/ベルマリン ☎053-578-3210  
「ベルマリン」で検索

